

ちょうあみ みきお 長阿彌 幹生（プロフィール）



北九州市生まれ。同志社大学を卒業後、大手流通企業で主に商品開発、販売企画、新規プロジェクトなどを担当。1996年に、娘の不登校を考えるために「お父さん研究会」をつくる。1998年、家族の病気介護のために会社を退職。

2000年、“なかよし”な人間関係についての研究機関「教育文化研究所」を仲間と共に設立。不登校、離婚、リストラ、職場のストレスなど、人間関係から起こる様々な問題の改善について研究しています。教育文化研究所主催のお父さん研究会、不登校研究会、なかよし研究会やシンポジウムなどを年間120回以上開催して、多くの参加者と共に考え、“なかよし”な人間関係の実践的研究を行っています。

2001年11月には、不登校当事者支援の5団体による「不登校サポートネット」を立ち上げて、福岡市での不登校支援活動を開始し、行政との協力事業も展開を進める。2003年9月には、「子どもの育つ地域社会づくり」を目的としたNPO法人「子どもNPOセンター福岡」を仲間と共に立ち上げて、子ども支援団体のネットワーク化や行政とNPOとの協働の推進を行っています。

2008年からは「幸福度世界一の国」デンマークとの交流事業を開始し、デンマークの教育や福祉などの講演会を開催したり、デンマーク研修ツアーやデンマーク研究会を定例開催して、日本の社会の高福祉化について考える機会を継続しています。

2012年4月からは福岡市共働提案事業として「不登校児童生徒の保護者支援のための共働事業（不登校よりそいネット）」を福岡市教育委員会と共にスタートさせて、福岡市における不登校の当事者支援体制の充実を目指しています。※2016年に福岡県共助社会づくりで福岡県知事表彰を受けました。

2015年からは筑紫野市社会福祉協議会に協力して不登校に悩む保護者支援サポーター養成講座の講師を毎年努め、その修了生の皆さんと2016年ちくしの不登校支援ネットを結成して、さらに不登校支援の活動の輪を広げています。

テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などに出演や執筆、講演会やシンポジウムなどの講師やコーディネーター、パネリストとして研究成果などを紹介しながら、明るい社会＝なかよし社会づくりを進めています。

■主な活動

1. 教育文化研究所 代表（平成12年～継続）
家庭・職場・地域の“なかよし”な人間関係を実践的に研究している。お父さん研究会やなかよし研究会、不登校研究会等の研究会活動や講演活動
2. 不登校サポートネット 代表（平成13年～継続）（※福岡市立西市民センターと連携）
3. (特)子どもNPOセンター福岡 理事（平成15年～継続 副代表や事務局長などを歴任）
子どもの権利条約の具現化を推進する団体やNPOの支援やネットワーク化などの活動
4. 「不登校よりそいネット（福岡市共働提案事業）」 実行委員長（平成24年～継続）
5. ちくしの不登校支援ネット 代表（平成28年度～継続）
6. (財)福岡・デンマーク協会 理事長（平成22年～継続）
7. 福岡県社会福祉協議会授産事業活性化委員会委員（平成14年度～平成16年度）
8. 福岡市不登校ひきこもり対策協議会委員（平成20年度）
9. 福岡市社会教育委員会 副委員長（平成20年度～継続）
10. 福岡市経済観光文化局委託ソーシャルビジネスアドバイザー（平成17年度～平成25年度）
11. 福岡県青少年問題協議会専門委員（平成24年度）
12. (特)セルフセンター福岡 副理事長（平成28年度～継続）
13. エッセイスト：親子や夫婦など人間関係や自然についてのエッセイを執筆
 - ① 西日本新聞（平成16年8月～平成17年6月連載）「ちょっと心呼吸」
 - ② 福祉情報誌アリア（長阿彌幹生のなかよしエッセイ）（平成19年12月～継続執筆中）

■著書：「長阿彌幹生のなかよし読本」（2009年9月20日初版発行 2018年5月20日第5刷）

■著書：「長阿彌幹生のデンマーク読本」（2013年11月1日初版発行 2015年5月25日第2刷）

■編書：「ふくおか不登校読本」「こども未来読本」「ふくおか子ども白書2014」「ふくおか子ども白書2018」

http://www.kyoikubunka.com/ ■ ブログ： http://nakayoshi.kyoikubunka.com/

Eメール： longnet@mocha.ocn.ne.jp ■ 電話・FAX 番号 092-923-9339

所在地 〒818-0061 福岡県筑紫野市紫 2-7-21-801